

保健体育

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保体 701	A B 206	令和2年
4	大日本図書	大日本◆	保体 702	B 5 変形 196	
50	大修館書店	大修館◆	保体 703	A B 198	
224	学研教育みらい	学 研◆	保体 704	A B 206	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

都立 白鷗高等学校附属中学校 保健体育 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
内	日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	☆	3 ☆☆☆	9 ☆	2 ☆
	体力の向上について扱っている箇所数	☆	16 ☆☆☆	39 ☆☆	22 ☆
容	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8 ☆☆☆	11 ☆☆☆	11 ☆☆
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11 ☆	7 ☆☆	9 ☆☆☆
	オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14 ☆☆☆	21 ☆☆	14 ☆
口絵		・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人と人をつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・オリンピック・パラリンピック ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいま ・科学技術で変わるスポーツと健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨
		・メタボ健診(P95) ・データ分析が試合を決める(P115) ・高山病(P128) ・一酸化炭素中毒死(P137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P138) ・風評被害(P143) ・インフルエンザにかかったら(P149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P155) ・救急車、本当に必要ですか(P159) ・保健センターと保健指導(P161) ・震災とスポーツ交流(P171) ・スポーツと外交(P173)	・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんてんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人々の健康を守る(P.140) ・サプリメントやトクホについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.156) ・技術と技能の関係(P.158) ・スポーツ障害(P.160) ・メタボリックシンドローム(P.172) ・がんの治療法の選択(P.174) ・受動喫煙防止対策(P.176) ・アルコール・ハラスメント(P.178) ・危険ドラッグ(P.180) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.182)	・エイズに対するさまざまな取り組み(P143) ・気象情報が提供されるまで(P158) ・ブルーライトに注意(P161) ・空気汚染のいまとむかし(P163) ・日本で最初に飲かれた水道(P165) ・し尿処理の古今東西(P166)	・いろいろな運動部活動(P21) ・不器用が生み出した最高の技術(P23) ・睡眠を科学する(P35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P35) ・生活を記録して夢をかなえる(P37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P54) ・体力測定と体力(P74) ・スポーツで求められること(P75) ・歯ブラシがない場合や水が少ないうちの歯の手入れ(P88) ・メタボリックシンドローム(P89) ・「アルハラ」は人権侵害(P94) ・研究が進む、がんの治療(P102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P109) ・津波でんてんこ(P121) ・救命の連鎖(P122) ・あなたにも救える命(P126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P127) ・スポーツの力(P139) ・オリンピックの体験(P141)
構成上の工夫	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	読み物	・「読む力」を育てる工夫 ・「読む楽しさ」を伝える工夫 ・「読む力」を育てる工夫 ・「読む楽しさ」を伝える工夫	・「読む力」を育てる工夫 ・「読む楽しさ」を伝える工夫 ・「読む力」を育てる工夫 ・「読む楽しさ」を伝える工夫	・「読む力」を育てる工夫 ・「読む楽しさ」を伝える工夫 ・「読む力」を育てる工夫 ・「読む楽しさ」を伝える工夫
	教科書の使い方	教科書の使い方	教科書の使い方	教科書の使い方	教科書の使い方
	デジタルコンテンツの扱い	「『D』」のマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。	「WEB」、「二次元コード」は大日本図書ウェブサイトに掲載されている動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。	「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。	「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコード」を読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり

都立 小石川中等教育学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研				
内容 容	学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	☆☆☆☆	337 ☆☆☆	318 ☆☆☆☆	382 ☆	194			
	運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	☆☆☆☆	92 ☆☆☆☆	94 ☆	50 ☆	37			
	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆☆☆☆	11 ☆☆	9			
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11 ☆	7 ☆☆	9 ☆☆☆	10			
	オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14 ☆☆☆☆	21 ☆☆	14 ☆	11			
口絵	・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人とをつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨					
構成上の工夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	読み物	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人の運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸素が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・卵子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンダー・マネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用品(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクボクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流種と副流種(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用品(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない場合の歯の手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変わりゆくスポーツ視聴(P.141) ・よきライバル(P.142) ・スポーツでつながる世界(P.143) ・日本ではまだ多い結核(P.153) ・知って防ごう、食中毒(P.154) ・HIV感染症・エイズは世界の問題(P.159) ・病気のけがの状態、どう伝える？(P.162) ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる(P.174) ・地球の水資源(P.177) ・現存する日本最古の下水道(P.179) ・災害時のトイレと健康(P.179) ・化学物質と健康(P.183)
		教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問・資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」 ・読み物「インターネットで調べてみよう」「インターネットを使った学習」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「トピックス」「ミニ知識」「注意」「リンク・他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・この教科書は「つかむ(章とびら、きょうの学習、課題をつかむ やつてみよう)」「身につける(考え、文章、資料、コラム、事例、実習、保健の意、体育の意)」→「まとめる(振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」が「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もつと広げる深める、探究しよう！)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える、調べる」→「まとめる(深める)」と進めていくことを示している。 ・「ほり下げる」がキーワード、「技能」「実習」「関連」「情報アプリ」「リンク」「探究」「発展」「協働」「言語」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 			
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書社の「ウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。 					
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり				

都立 両国高等学校附属中学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研		
内 容	日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	☆	3 ☆☆☆	9 ☆	2 ☆		
	体力の向上について扱っている箇所数	☆	16 ☆☆☆	39 ☆☆	22 ☆		
	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8 ☆☆☆	11 ☆☆☆	11 ☆☆		
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11 ☆	7 ☆☆	9 ☆☆☆		
オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14 ☆☆☆	21 ☆☆	14 ☆			
口絵	・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人と人をつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨			
構 成 上 の 工 夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人の運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・和食(P.20) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸素が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・卵子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンダー・マネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用品(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人々の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクボクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流種と副流種(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用品(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない場面での手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141)
	教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問・資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」→「話し合ってみよう」→「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「トピックス」「ミニ知識」「注意」「リンク」「他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・この教科書は「つかむ(章とひら、きょうの学習、課題をつかむ やつてみよう)」「身につける(考え、文章、資料、コラム、事例、実習、保健の窓、体育の窓)」「まとめる(振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もつと広げる深める、探究しようよ！)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える、調べる」→「まとめる、深める」と進めていくことを示している。 ・「ほり下げる」に「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 		
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書「ウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。 			
参 考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり		

都立 桜修館中等教育学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研				
内	学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	☆☆☆	337☆☆	318☆☆☆	382☆	194			
	運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	☆☆☆☆	92☆☆☆☆	94☆	50☆	37			
容	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8☆☆☆☆	11☆☆☆☆	11☆☆	9			
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11☆	7☆☆	9☆☆☆	10			
	オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14☆☆☆☆	21☆☆	14☆	11			
口絵		・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人とをつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨				
構成上の工夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	読み物	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人の運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・和食(P.20) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸素が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・卵子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンダー・マネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用品(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクホクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流種と副流種(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用品(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない場合の歯の手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変わりゆくスポーツ視聴(P.141) ・よきライバル(P.142) ・スポーツでつながる世界(P.143) ・日本ではまだ多い結核(P.153) ・知って防ごう、食中毒(P.154) ・HIV感染症・エイズは世界の問題(P.159) ・病気のけがの状態、どう伝える？(P.162) ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる(P.174) ・地球の水資源(P.177) ・現存する日本最古の下水道(P.179) ・災害時のトイレと健康(P.179) ・化学物質と健康(P.183)
		教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問、資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」→「話し合ってみよう」→「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「ボックス」「ミニ知識」「注意」「リンク」「他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・この教科書は「つかむ(章とひらき、きょうの学習、課題をつかむ やってみよう)」「身につける(考え、文章、資料、コラム、事例、実習、保健の意、体育の意)」「まとめる(振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」が「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もつと広げる深める、探究しよう1)」「1」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える、調べる」→「まとめる(深める)」と進めていくことを示している。 ・「ほり下げる」がキーワード、「技能」「実習」「関連」「情報アプリ」「リンク」「探究」「発展」「協働」「言語」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 			
デジタルコンテンツの扱い		・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。	・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書「ウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。	・「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。	・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。				
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり				

都立 立川国際中等教育学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研				
内	学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	☆☆☆	337 ☆☆☆	318 ☆☆☆	382 ☆	194			
	体力の向上について扱っている箇所数	☆	16 ☆☆☆	39 ☆☆	22 ☆	21			
容	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8 ☆☆☆	11 ☆☆☆	11 ☆☆	9			
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11 ☆	7 ☆☆	9 ☆☆☆	10			
	オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14 ☆☆☆	21 ☆☆	14 ☆	11			
口絵		・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人と人をつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨				
構成上の工夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	読み物	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人と運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・和食(P.20) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸素が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・卵子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンダー・マネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用品(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクホクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流種と副流種(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用品(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない場合の歯の手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変わりゆくスポーツ視聴(P.141) ・よきライバル(P.142) ・スポーツでつながる世界(P.143) ・日本ではまだ多い結核(P.153) ・知って防ごう、食中毒(P.154) ・HIV感染症・エイズは世界の問題(P.159) ・病気のけがの状態、どう伝える？(P.162) ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる(P.174) ・地球の水資源(P.177) ・現存する日本最古の下水道(P.179) ・災害時のトイレと健康(P.179) ・化学物質と健康(P.183)
		教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問・資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」が示されている。 ・「読み物」「インターネットで調べてみよう」「インターネットを使った学習」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「トピックス」「ミニ知識」「注意」「リンク・他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・この教科書は「つかむ(章とひら、きょうの学習、課題をつかむ やつてみよう)」「身につける・考える(文章、資料、コラム、事例、実習、保健の意、体育の意)」「まとめる・振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もつと広げる深める、探究しようよ！)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「技能」「実習」「関連」「情報アプリ」「リンク」「探究」「発展」「協働」「言語」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 			
デジタルコンテンツの扱い		・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。	・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書社の「ウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。	・「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。	・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。				
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり				

都立 武蔵高等学校附属中学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研				
内	学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	☆☆☆	337 ☆☆☆	318 ☆☆☆	382 ☆	194			
	体力の向上について扱っている箇所数	☆	16 ☆☆☆	39 ☆☆	22 ☆	21			
	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8 ☆☆☆	11 ☆☆☆	11 ☆☆	9			
容	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11 ☆	7 ☆☆	9 ☆☆☆	10			
	オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14 ☆☆☆	21 ☆☆	14 ☆	11			
口 録		<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人と人をつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓 		<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器 ・骨格と筋肉 		<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨 	
構 成 上 の 工 夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	読み物	<ul style="list-style-type: none"> ・読書力 ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人と運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書力 ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸素が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・卵子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンガーマネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクボクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書力 ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流種と副流種(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない場合の歯の手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変わりゆくスポーツ視聴(P.141) ・よきライバル(P.142) ・スポーツでつながる世界(P.143) ・日本ではまだ多い結核(P.153) ・知って防ごう、食中毒(P.154) ・HIV感染症・エイズは世界の問題(P.159) ・病気のけがの状態、どう伝える？(P.162) ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる(P.174) ・地球の水資源(P.177) ・現存する日本最古の下水道(P.179) ・災害時のトイレと健康(P.179) ・化学物質と健康(P.183)
		教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の使い方 ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問・資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の使い方 ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」→「話し合ってみよう」→「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「トピックス」「ミニ知識」「注意」「リンク」「他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の使い方 ・この教科書は「つかむ(章とひら、きょうの学習、課題をつかむ やつてみよう)」「身につける・考える(文章、資料、コラム、事例、実習、保健の意、体育の意)」「まとめる・振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の使い方 ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もつと広げる深める、探究しようよ！)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」と進めていくことを示している。 ・「ほり下げる」→「キーワード」「よみ取る」「関連」「情報アプリ」「リンク」「探究」「発展」「協働」「言語」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 			
デジタルコンテンツの扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書社のウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。 				
参 考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり				

都立 富士高等学校附属中学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研				
内容	学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	☆☆☆☆	337 ☆☆☆	318 ☆☆☆☆	382 ☆	194			
	運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	☆☆☆☆	92 ☆☆☆☆	94 ☆	50 ☆	37			
	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆☆☆☆	11 ☆☆	9			
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11 ☆	7 ☆☆	9 ☆☆☆	10			
	オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14 ☆☆☆☆	21 ☆☆	14 ☆	11			
口絵		・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人と人をつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨				
構成上の工夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	読み物	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人の運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・和食(P.20) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸素が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・卵子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンダー・マネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用品(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクボクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流と副流(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用品(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない場面の歯の手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変わりゆくスポーツ視聴(P.141) ・よきライバル(P.142) ・スポーツでつながる世界(P.143) ・日本ではまだ多い結核(P.153) ・知って防ごう、食中毒(P.154) ・HIV感染症・エイズは世界の問題(P.159) ・病気のけがの状態、どう伝える？(P.162) ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる(P.174) ・地球の水資源(P.177) ・現存する日本最古の下水道(P.179) ・災害時のトイレと健康(P.179) ・化学物質と健康(P.183)
		教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問・資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」 ・読み物「インターネットで調べてみよう」「インターネットを使った学習」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「ボックス」「ミニ知識」「注意」「リンク」「他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・この教科書は「つかむ(章とひらき、きょうの学習、課題をつかむ やってみよう)」「身につける(考え、文章、資料、コラム、事例、実習、保健の意、体育の意)」「まとめる(振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」 ・「ほり下げる」「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もつと広げる深める、探究しよう！)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える、調べる」→「まとめる、深める」と進めていくことを示している。 ・「ほり下げる」→「キーワード」「よみ取る」「関連」「情報アプリ」「リンク」「探究」「発展」「協働」「言語」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 			
デジタルコンテンツの扱い		・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。	・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書社のウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。	・「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。	・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。				
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり				

都立 大泉高等学校附属中学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研			
内 容	日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	☆	3 ☆☆☆	9 ☆	2 ☆			
	体力の向上について扱っている箇所数	☆	16 ☆☆☆	39 ☆☆	22 ☆			
	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8 ☆☆☆	11 ☆☆☆	11 ☆☆			
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11 ☆	7 ☆☆	9 ☆☆☆			
オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14 ☆☆☆	21 ☆☆	14 ☆				
口 絵		・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人と人をつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨			
構 成 上 の 工 夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	読み物	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人の運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・和食(P.20) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸素が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・卵子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンダー・マネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用品(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクホクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流種と副流種(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用品(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときにはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない洗面の歯の手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141)
		教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問、資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「トピックス」「ミニ知識」「注意」「リンク」「他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・この教科書は「つかむ(章とびら、きょうの学習、課題をつかむ やつてみよう)」「身につける(考え、文章、資料、コラム、事例、実習、保健の窓、体育の窓)」「まとめる(振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」が「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もっと広げる深める、探究しようよ！)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える、調べる」→「まとめる(深める)」と進めていくことを示している。 ・「ほり下げる」がキーワード「よみ取る」「関連」「情報アプリ」「リンク」「探究」「発展」「協働」「言語」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 		
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書社の「ウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。 				
参 考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり			

都立 南多摩中等教育学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研		
内 容	日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	☆	3 ☆☆☆	9 ☆	2 ☆		
	体力の向上について扱っている箇所数	☆	16 ☆☆☆	39 ☆☆	22 ☆		
	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8 ☆☆☆	11 ☆☆☆	11 ☆☆		
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11 ☆	7 ☆☆	9 ☆☆☆		
オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14 ☆☆☆	21 ☆☆	14 ☆			
口絵	・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人とをつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨			
構 成 上 の 工 夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人の運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・和食(P.20) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸欠が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・精子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンガーマネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用品(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクボクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> <読み物> ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流種と副流種(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用品(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときにはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない洗面の歯の手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141)
	教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問・資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」→「話し合ってみよう」→「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「トピックス」「ミニ知識」「注意」「リンク」「他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・この教科書は「つかむ(章とひら、きょうの学習、課題をつかむ やつてみよう)」「身につける(考え、文章、資料、コラム、事例、実習、保健の意、体育の意)」「まとめる(振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」が「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> <教科書の使い方> ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もつと広げる深める、探究しようよ！)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える、調べる」→「まとめる、深める」と進めていくことを示している。 ・「ほり下げる」が「web保健情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 		
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書社の「ウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「web保健情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。 			
参 考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり		

都立 三鷹中等教育学校 保健体育 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研				
内	学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	☆☆☆	337☆☆	318☆☆☆	382☆	194			
	運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	☆☆☆☆	92☆☆☆☆	94☆	50☆	37			
容	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	☆	8☆☆☆☆	11☆☆☆☆	11☆☆	9			
	防災や自然災害を扱っているページ数	☆☆☆☆	11☆	7☆☆	9☆☆☆	10			
	オリンピック・パラリンピックを扱っているページ数	☆☆	14☆☆☆☆	21☆☆	14☆	11			
口絵		・オリンピック・パラリンピックのメッセージ ・人と人をつなぐスポーツ ・運動やスポーツと食事 ・支え合って生きている ・この教科書の使い方 ・筋肉 ・骨格 ・内臓	・生きがいのある豊かな生活を！ ・スポーツは世界の言葉 ・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる ・オリンピック・パラリンピック ・世界で活躍する人々を支える健康 ・私たちの健康を支える食事 ・私たちの生活とスマートフォン ・この教科書の使い方 ・1時間の学習の主な流れ ・内臓諸器官と呼吸器官 ・骨格と筋肉	・オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツの広がり ・共にいきる ・よりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系	・スポーツで世界を一つに ・スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち ・いつでも話せる相手がいます ・科学技術で変わるスポーツや健康の世界 ・中学校生活と食事 ・保健体育 行って、見て、学ぼう ・この教科書の使い方 ・さまざまな学習方法① ・さまざまな学習方法② ・体の仕組み①内臓 ・体の仕組み②筋肉 ・体の仕組み③骨				
構成上の工夫	主體的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	読み物	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・進化する歩数計(P.7) ・骨の基礎は思春期につくられる(P.21) ・ホルモンの働き(P.25) ・自己形成を助けるのは(P.33) ・日本人の運動会(P.51) ・自転車も加害者になる(P.66) ・中学生が深めた地域のきずな(P.75) ・メタボ健診(P.95) ・データ分析が試合を決める(P.115) ・高山病(P.128) ・一酸化炭素中毒死(P.137) ・戦後日本の廃棄物処理場(P.138) ・風評被害(P.143) ・インフルエンザにかかったら(P.149) ・世界と日本のHIV/エイズ状況(P.155) ・救急車、本当に必要ですか(P.159) ・保健センターと保健指導(P.161) ・震災とスポーツ交流(P.171) ・スポーツと外交(P.173) 	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・スポーツの意味(P.4) ・テレビでのスポーツ観戦(P.6) ・健闘をたたえ合う(P.8) ・ヘルスプロモーション(P.16) ・体づく運動(P.18) ・和食(P.20) ・睡眠と生活のリズム(P.22) ・調和のとれた生活と風邪のひきやすさ(P.24) ・朝と夜の体の大きさ(P.30) ・なぜ酸素が必要なのか(P.32) ・ホルモンの作用(P.34) ・卵子の数・精子の数(P.36) ・個性や能力を大切に(P.38) ・夢をかたえるために(P.40) ・自分らしさと職業(P.42) ・アンガーマネジメント(P.44) ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)(P.46) ・笑いの健康効果(P.48) ・骨密度の増加・現象と骨粗鬆症(P.56) ・技術と技能の関係(P.58) ・スポーツ障害(P.60) ・メタボリックシンドローム(P.72) ・がんの治療法の選択(P.74) ・受動喫煙防止対策(P.76) ・アルコール・ハラスメント(P.78) ・危険ドラッグ(P.80) ・未成年者の喫煙、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ(P.82) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(P.90) ・ヘルメットの着用品(P.92) ・子ども110番の家(P.96) ・津波でんでんこ(P.98) ・救急車利用のマナー(P.104) ・AED(自動体外式除細動器)(P.106) ・命に関わる大出血(P.110) ・よくあるけが(P.112) ・スポーツの文化的意義(P.120) ・ユースオリンピック(P.122) ・アダプテッド・スポーツ(P.126) ・新型インフルエンザ(P.132) ・学校感染症(P.134) ・性感染症に対応するためのさまざまな機関(P.136) ・世界エイズデー(P.138) ・世界の人々の健康を守る(P.140) ・サプリメントやクボクについて正しく理解しよう(P.142) ・高地トレーニングの効果(P.150) ・冷房による体の不調(P.152) ・放射能の健康への影響(P.154) ・体内の水分量(P.156) ・災害時の情報の活用(P.158) ・食品の廃棄物(P.160) 	<ul style="list-style-type: none"> ＜読み物＞ ・車いすの天才科学者(P.18) ・1週間て1年分の骨が減る？(P.21) ・スポーツ選手と食事(P.23) ・赤ちゃんの顔はどっち？(P.31) ・心拍数の正しいはかり方(P.33) ・月経とは(P.35) ・脳の発達＝神経回路が複雑になるだけではない(P.40) ・藤井聡太さんの自己形成(P.45) ・欲求と自己実現(P.46) ・自律神経の働き(P.48) ・中学生期に高めたい体力(P.60) ・むし歯と歯周病(P.76) ・がん体験者のこと(P.83) ・主流種と副流種(P.85) ・ゴールの転倒事故を防ぐ(P.99) ・ヘルメットの着用品(P.102) ・親子で救命リレー(P.108) ・わからないときにはAED(P.111) ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎(P.125) ・生活習慣の抵抗力への影響(P.137) ・マスクはなぜつける？(P.139) ・ふたたび増加している性感染症・梅毒(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズに対するさまざまな取り組み(P.143) ・気象情報が提供されるまで(P.158) ・ブルーライトに注意(P.161) ・空気汚染のいまとむかし(P.163) ・日本で最初に敷かれた水道(P.165) ・し尿処理の古今東西(P.166) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動部活動(P.21) ・不器用が生み出した最高の技術(P.23) ・睡眠を科学する(P.35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康(P.35) ・生活を記録して夢をかなえる(P.37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。(P.40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳(P.54) ・体力測定と体力(P.74) ・スポーツで求められること(P.75) ・歯ブラシがない場合や水が少ない場合の歯の手入れ(P.88) ・メタボリックシンドローム(P.89) ・「アルハラ」は人権侵害(P.94) ・研究が進む、がんの治療(P.102) ・「ヒヤリ・ハット」体験(P.109) ・「津波でんでんこ」(P.121) ・救命の連鎖(P.122) ・あなたにも救える命(P.126) ・応急手当の講習を受けてみよう(P.127) ・スポーツの力(P.139) ・オリンピックの体験(P.141) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変わりゆくスポーツ視聴(P.141) ・よきライバル(P.142) ・スポーツでつながる世界(P.143) ・日本ではまだ多い結核(P.153) ・知って防ごう、食中毒(P.154) ・HIV感染症・エイズは世界の問題(P.159) ・病気のけがの状態、どう伝える？(P.162) ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる(P.174) ・地球の水資源(P.177) ・現存する日本最古の下水道(P.179) ・災害時のトイレと健康(P.179) ・化学物質と健康(P.183)
		教科書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つける」→「学習課題」→「課題の解決(発問・資料・本文)」→「広げる」と進めていくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「発展」「読み物」「インターネットで調べてみよう」「インターネットを使った学習」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は「章の扉」→「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章の学習のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習のねらい」→「つかもう」→「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」→「活用して深めよう」と進めていくことを示している。 ・教科書に使われているマークとして、「資料」「トピックス」「ミニ知識」「注意」「リンク・他教科」「キーワード」「家」「地域」「発展」「WEB」「QRコード」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・この教科書は「つかむ(章とひらき、きょうの学習、課題をつかむ やってみよう)」「身につける(考え、文章、資料、コラム、事例、実習、保健の意、体育の意)」→「まとめる(振り返る(学習のまとめ 生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ取る」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」が「web保体情報館」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜教科書の使い方＞ ・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習(もっと広げる深める、探究しよう！)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「学習の目標」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える、調べる」→「まとめる(深める)」と進めていくことを示している。 ・「ほり下げる」がキーワードとして「技能」「実習」「関連」「情報アプリ」「リンク」「探究」「発展」「協働」「言語」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 			
デジタルコンテンツの扱い		・「D」このマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができます。」と示している。 ・学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。	・「WEB」、「二次元コード」は大日本図書社の「ウェブサイトにある動画や資料を使って学習することができます。」と記載している。	・「web保体情報館」に二次元コードがあり、「ウェブサイトから参考になる情報を調べることができます。」と記載している。	・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトへのガイド」と記載している。 ・「QRコードを読み取って『教科書サイト』にアクセスします。」と記載している。				
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり				

